



生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会

看護業務の効率化 先進事例アワード2021 受賞9施設を決定 最優秀賞は 東京都立小児総合医療センターが受賞 12月22日、表彰式・事例報告会をWEB開催

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員 76 万人）は、このたび「看護業務の効率化 先進事例アワード 2021」受賞 9 施設を決定しました。本アワードは厚生労働省補助金事業「看護業務効率化先進事例収集・周知事業」により実施しているもので、看護職が勤務している医療・介護保険施設等において、看護業務の効率化に優れた成果を上げ、医療・看護ケアサービスの充実を実現した取り組みを募集し表彰するものです。今回は全国から 44 件の応募がありました。

本アワードの表彰式ならびに事例報告会を 2021 年 12 月 22 日（水）に都内にて開催し、WEB 配信します。なお、過年度受賞した取り組みを試行的に実施する 2 施設からも実施状況について報告を行います。

◆受賞施設一覧◆

最優秀賞 東京都立小児総合医療センター（東京都）

小児集中治療室で取り組む特定行為実践とタスクシフト～効率的で安全・安心な看護の提供を目指して～

優秀賞 【業務改善部門】医療法人和同会広島シーサイド病院（広島県）

改善活動の推進による働き続けられる職場環境づくり

～広島県版自己点検ツール「チャレンジ」を活用した 3 か年に亘る業務改善の取組～

【AI・ICT等の技術の活用部門】社会医療法人柏葉会柏葉脳神経外科病院（北海道）

新型コロナウイルス感染症クラスター下での看護記録革命！～スマホ活用で問題解決～

【その他の工夫部門】学校法人北里研究所北里大学病院（神奈川県）

看護補助者の退職者減少を目指した「看護補助者の拡大チーム」の編成と「看護補助者ラダー」の導入

奨励賞 学校法人日本医科大学日本医科大学千葉北総病院（千葉県）

新型コロナウイルス感染症対応病棟における物品搬送ロボットの活用

社会福祉法人弘陵福祉会特別養護老人ホーム六甲の館（兵庫県）

看護師のケアマネジメント力を介護負担軽減と二次障害の予防に活かす

～老人介護施設における看護師の役割とノーリフト推進～

社会医療法人孝仁会訪問看護ステーションはまなす（北海道）

在宅サービス過疎地域における訪問看護ステーションの一元管理

特別賞 稲沢市民病院（愛知県）

新型コロナウイルス感染症発熱外来における Web 問診による看護師の職業感染予防と業務負担軽減への取り組みの成果

公益財団法人東京都保健医療公社東部地域病院（東京都）

看護部働き方改革プロジェクト：「繁忙度表」を活用した「看護師長の病床・業務調整会」による人員の采配と応援体制づくり

News Release

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2021年11月1日

■12/22「看護業務の効率化 先進事例アワード2021」表彰式・報告会プログラム

●第一部 表彰式		
開会		
13:30～13:35	開会挨拶	日本看護協会 会長 福井トシ子
13:35～13:40	厚生労働省挨拶	厚生労働省
13:40～14:10	受賞施設の表彰	
14:10～14:15	選考委員長挨拶・講評	九州大学 名誉教授 尾形裕也 (最優秀賞と全体を通しての講評)
●第二部 事例報告会		
14:25～15:25	事例発表 4施設	最優秀賞1施設・優秀賞3施設
15:25～15:45	試行実施状況の報告 2施設	
15:45～16:00	参加者からの質問への対応 (チャットから寄せられた質問へ対応)	
閉会		

■参加申し込みについて

◇事前参加申し込み

11月1日より事前申し込みを開始します。詳細は日本看護協会ホームページからご確認ください (<https://www.nurse.or.jp/>)。

◇視聴方法

視聴には Zoom ウェビナーを使用します。視聴 URL の案内メールは、Zoom を登録・アプリをインストールした際のメールアドレスに届きます。詳細は、日本看護協会ホームページからご確認ください。

(参考) 募集の概要

※募集は終了しています

【名称】

看護業務効率化先進事例収集・周知事業 看護業務の効率化 先進事例アワード2021

【募集期間】

2021年6月1日(火)～8月16日(月)

【募集対象】

看護職が勤務している医療機関・介護保険施設等において、直近3年以内に看護業務の効率化において優れた成果・効果を上げている取り組みや、それにより医療・看護サービスの充実を実現した取り組み

【募集内容】

医療安全が損なわれていない、かつ先進的・先駆的であることを前提として、以下の内容を募集します

- ①業務改善による看護業務効率化の取り組み
- ②タスクシフト・多職種連携による看護業務効率化の取り組み
- ③AI・ICT等の技術を活用した看護業務効率化の取り組み
- ④その他の工夫による看護業務効率化の取り組み

※本事業は厚生労働省の補助金事業として、公益社団法人日本看護協会が実施しているものです